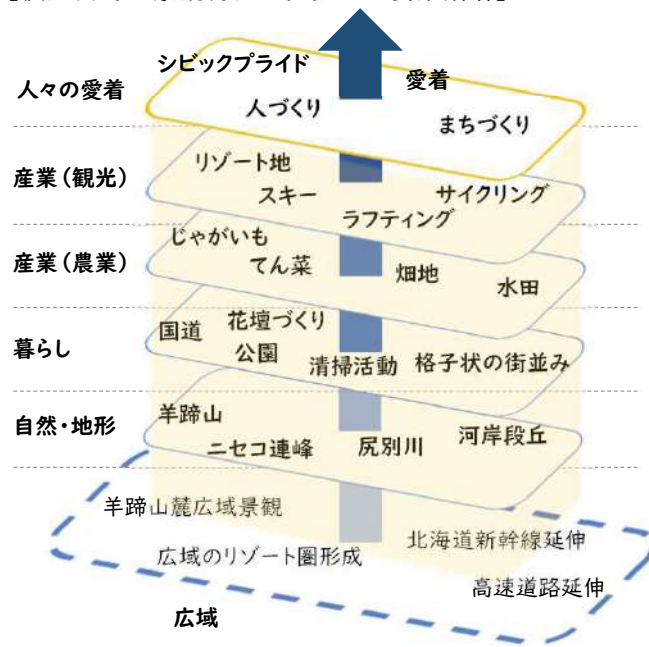


■倶知安町全体の景観特性の捉え方

- ・ 倶知安町の景観を創り出している大切な要素として、羊蹄山麓の広域景観や広域のリゾート圏形成などの「広域」の要素が背景にあり、土台として羊蹄山や河岸段丘などの「自然・地形」、その上に道路や市街地、町民の営みなどの「暮らし」、畑地や水田などの「産業（農業）」、スキーやリゾート地などの「産業（観光）」が重なり合っています。
- ・ さらに、その重なり合いとともに、町民を始めとする倶知安町に関わる全ての「人々の愛着」が自然・地形、都市形成、産業までを守り、育て、創っており、倶知安町の景観を形成していると言えます。

【倶知安町の景観特性を把握する要素階層】



倶知安町の暮らしや歴史、文化を踏まえ、町民や来訪者、事業者など町に関わる全ての人に、町の景観（倶知安らしさ）として親しまれているものを把握します。

倶知安町のもう一つの基幹産業である観光の視点から、町の景観特性を把握します。

倶知安町の基幹産業である農業が創り出す景観から、町の景観特性を把握します。

都市の形成とともにある町民の日々の暮らしが創り出す景観から、景観特性を把握します。

倶知安町の景観の骨格となる自然環境や地形から景観特性を把握します。

■各会議で出された景観特性に繋がる「キーワード」（抜粋）

【第1回検討会議 令和2年7月15日】

- ・ 倶知安駅から見る街並みは好ましくないが、羊蹄山の魅力がある
- ・ 冬のスキー場などの景観は素晴らしいが、夏場の市街地とのギャップがある
- ・ 目の前に羊蹄山・ニセコ連峰があることは倶知安町最大の魅力
- ・ 「暮らしの姿」が景観。「景観」は住む人の身だしなみであるという考えもある
- ・ 「どういう暮らしを目指すのか」という視点で議論を進めると、個々人の「良好な景観」への共通認識に繋がる
- ・ 積雪を考慮した建築など「暮らしやすさ」が「美しさ」につながることもある
- ・ 「羊蹄山」「豊かな森林」「農地」の3つによって景観が構成されているなど、景観構造の明確化により、保全の方向性が分かりやすくなる など

【第2回検討会議 令和2年8月5日】

- ・ 河岸段丘と格子状の農業景観の組み合わせは町の特徴の一つと言える
- ・ 河岸段丘の斜面緑地と農地の繰り返しが特徴的
- ・ 生産緑地が点在する風景が実に秩序だっており、自然に寄って生まれた色彩や模様が大切な景観を形成
- ・ 旭ヶ丘公園から見ると町の地形が良く分かる
- ・ 人がいないと街並みも景観も成立しない。まず地域をどう活性化するか考える必要がある
- ・ 植物の繁茂によって川面が全く見えない場所があり、川面を景観に取り込みたい
- ・ 景観に対して意見を言うだけでなく、花壇の草取りをするなど活動し、景観に関わることで、愛着も湧く など

【第1回市街地景観検討部会

令和2年9月10日】

- ・ 老朽化した建物が多く、これらをどのように見栄え良く見せるかが課題
- ・ 通りごとに個性がある。それらの持ち味を引き出す工夫があると街歩きも楽しい
- ・ 駅前通りは電柱のせいで道路の広がりを感じ
- ・ 旭ヶ丘公園から市街地が見える風景が大切。羊蹄への眺望も美しい
- ・ 草が繁茂しているが河川も重要な資源
- ・ 軟石の石造倉庫は歴史的で味わいのある建物であるため、活用できないか
- ・ 繊維の鉢を使った花植えや緑化は町の特徴の一つ
- ・ 小路に个性的で賑わい感が外に見える店ができて（3軒効果に繋がる）

など

【第1回景観地区検討部会

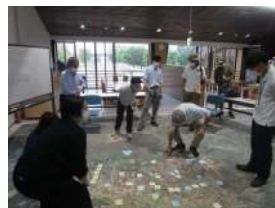
令和2年9月11日】

- ・ 倶知安のようなレベルのスキーリゾートは、日本に他にない
- ・ スキーリフトに近いエリアや高速道路の新設を見据えた地区の新たな開発が懸念
- ・ 交通渋滞も大きな課題で、景観は暮らしという広い視野で考える必要がある
- ・ 河川は人工的な整備が多く、自然に調和するような意匠になっていない
- ・ 開発側が目立つということを目的に建築を立てた際に、結果として街並みに統一感が無くなっている
- ・ 水源や温泉は限りあるものなので、今後重要課題として考えていくべき
- ・ 歩道にはみ出した繁茂した植栽は、しっかりと管理すべき など

【第2回景観地区検討部会

令和2年9月25日】

- ・ ひらふや泉郷、羊蹄の里は当時開発した事業者が門や垣根をつくらないという自主規制を作り、今も続いている
- ・ 尻別川と羊蹄山までの白地地域は何かしらの規制を設けるべきだ
- ・ 特に道路に面した長く開発していないオーナーのいる土地は、雑草の繁茂などの課題がある
- ・ 開発により森林が切り倒されている現実を見ると緑地率の確保などが必要とを感じる
- ・ 色や高さについては、何かしらの規制が必要
- ・ 川の魅力が見えないことが残念。ひらふには溪谷のような景観がある など



■ 倶知安町の景観特性に繋がる要素や資源

（1）自然・地形から見た景観要素や資源

羊蹄山やニセコ連峰をはじめとする雄大な山々と清流尻別川などの良好な水辺環境があります

- ・ 羊蹄山は支笏洞爺国立公園に属し、公園の大部分が道有林で森林資源が保全
- ・ 羊蹄山の湧水が、市街地やリゾート地域の上水道を供給
- ・ ニセコ連峰はニセコ積丹小樽海岸国定公園に属する
- ・ ニセコアンヌプリを中心にスキー場施設・宿舎等が充実、良質な自然環境におけるレクリエーション機能を有する
- ・ 羊蹄山やニセコ連峰等1,000mを超える標高から見渡す景色は良質な自然環境のもとで暮らしがある事を感じる
- ・ 市街地や農業地域から望む雄大な山々の景色
- ・ 市街地は、南は尻別川、西は倶登山川、北から東にかけては河岸段丘によって囲まれた沖積地上に形成
- ・ 河畔林がづくり出す、水と緑の織り成す良好な水辺環境
- ・ 町内の森林は大部分が広葉樹（イタヤカエデ、ナラ、ダケカンバ等）、夏の緑、秋の紅葉、冬の枯木など四季の変化がある



（3）暮らしから見た景観要素や資源

JRや国道5号を中心としてまちの骨格が形成、清掃活動など町民のまちづくりの取組が日常的に行われています。

- ・ 町民の多くが住宅等から羊蹄山を望むことができ、身近に雄大な羊蹄山を感じながら生活を送る
- ・ 直線の道路、基盤の目（格子状）に形成された街区はすっきりとした街並みを形成
- ・ 交通量の多い町道の基本は10.90m（6間幅）と堆雪幅を考慮した広めの生活道路空間
- ・ 雪解け時に、多くの町民で「春のクリーン作戦」を集中的に行う姿
- ・ 町内会や事業者による清掃活動など、自主的な環境維持の取組が良質な住環境・自然環境を維持
- ・ 市街地の下水道普及率が高く、地域衛生の向上、放流する尻別川の水質向上に寄与
- ・ 街区公園や旭ヶ丘総合公園など、多様な公園が市街地に点在し、豊かな暮らしにつながっている
- ・ 「くっちゃん型住宅ガイドライン」では、自然景観との調和のため外観の意匠に自然素材の活用を促し、倶知安らしい住まいづくりが進む
- ・ 町内会による花壇づくりなどが積極的に行われ日常の暮らしに潤いを創出



（2）産業から見た景観要素や資源

【農業】羊蹄山を背景とした四季の移ろいを感じられる農業景観が広がっています

- ・ 尻別川流域や北東部の河岸段丘上の平坦な台地などに広大な農地が展開
- ・ 特産品の馬鈴薯をはじめとした畑作中心の作物が収穫される
- ・ 春の訪れを感じさせる、黒い融雪剤が至る所で撒かれる光景
- ・ 初夏、丁寧に育てた農作物が一面に青々と生育
- ・ 馬鈴薯の、品種によって異なるピンク・黄色の花の絨毯
- ・ 早朝から夜間までハーベスターなどで農作物を収穫する作業の収穫期の様子
- ・ 農地脇に積まれた収穫コンテナ
- ・ 冬は農地に広がる一面真っ白な美しい雪原
- ・ 町営花園育成牧場には、242.3haの広大な牧草地が広がり、地域の酪農業を支える



～SNSや口コミサイトの投稿から読み取る要素や資源（参考）～

- ・ インスタグラムでは、「羊蹄山」や「ニセコアンヌプリ」といった自然資源の関心が高く、トリップアドバイザーでは日本語、英語ともに「スキー場」や「飲食店」、「宿」などの口コミが多い。
- ・ 二つのデータを通じて、雪や山といった自然環境や、店舗や宿等の観光施設が観光から見る景観特性に繋がると考えられる。



（4）雪から見た景観要素や資源

世界に誇れる良質な雪に覆われる美しい景観が広がります

- ・ 早朝に町道をくまなく機械除雪することによる、車道・歩道空間が確保された安全な移動環境
- ・ 積雪で狭くなった道路での譲り合いの光景
- ・ 日常の風景である、子供たちが自分の背丈をはるかに超えた歩道を歩く姿
- ・ 町内会による独居のお年寄りへの安否確認と間口除雪による助け合いのコミュニティが醸成
- ・ 市街地内の空き地は、地域の堆雪場として利用
- ・ 「建築物に関する指導要綱」により、隣地との間隔をとり落雪飛距離を確保した、豪雪地ならではの宅地形成
- ・ しんと雪が降った翌朝は山も農地も住宅地も一面真っ白の世界
- ・ 宝石のようにキラキラと輝くスキー場のナイター照明
- ・ 雪は天与の宝、「スキーの町宣言」



（5）町民の愛着からみた景観要素や資源

羊蹄山やニセコ連峰、自然環境に対する愛着が育まれています

- ・ 羊蹄山やニセコ連峰の景色を見て季節を感じたり、日々の天候の変化を予測したり、私たちは心の中で当たり前のように山々を意識して生活している
- ・ おいしい水などの暮らし、スキーなどのアクティビティ、肥沃な農地から収穫される農産物、多くの観光客が訪れる状況、どれもが良質な自然環境の上に成り立っていることが町民の誇りにつながる
- ・ 半年以上付き合う「雪」によって、他者への優しさ・思いやりを育む文化が自ずと醸成

● 小中学校の校歌から見る要素や資源（参考）

地形	羊蹄山（えぞ富士）／ニセコ（ニセコアン）／尻別川	
気候	雪／粉雪／吹雪	※調査小中学校： 倶知安中学校/倶知安小学校/ 倶知安北陽小学校/東小学校/ 西小学校/樺山分校
自然	白樺／ポプラ	
営み	田／畑	

● 令和2年町民アンケートから見る要素や資源（参考）

- ・ 倶知安町の魅力として「羊蹄山やニセコ連峰の山なみ」「きれいな水」など自然環境
- ・ 倶知安町の誇れる場所として「羊蹄山」や「ニセコ連峰」

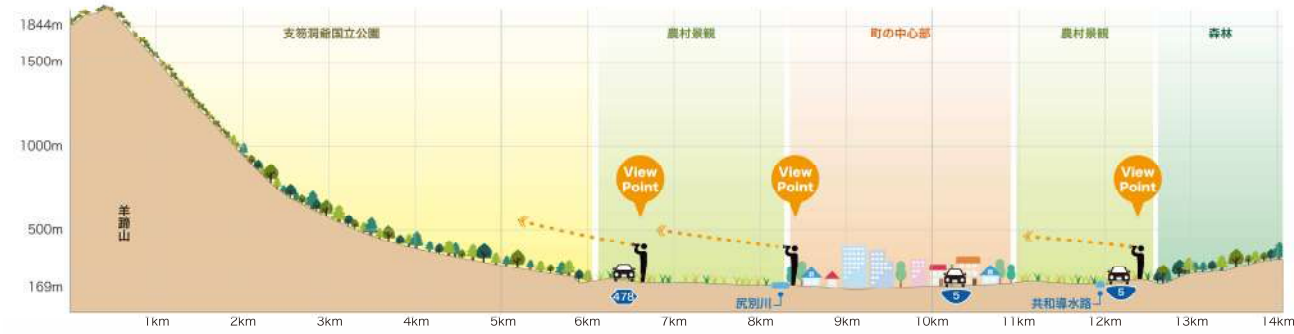


【倶知安町の断面図】

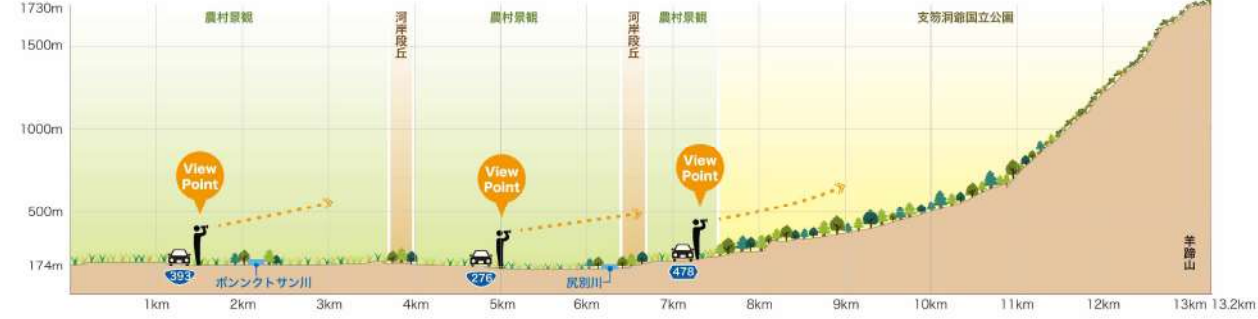
●ニセコアンヌプリ市街地一本倶登山断面



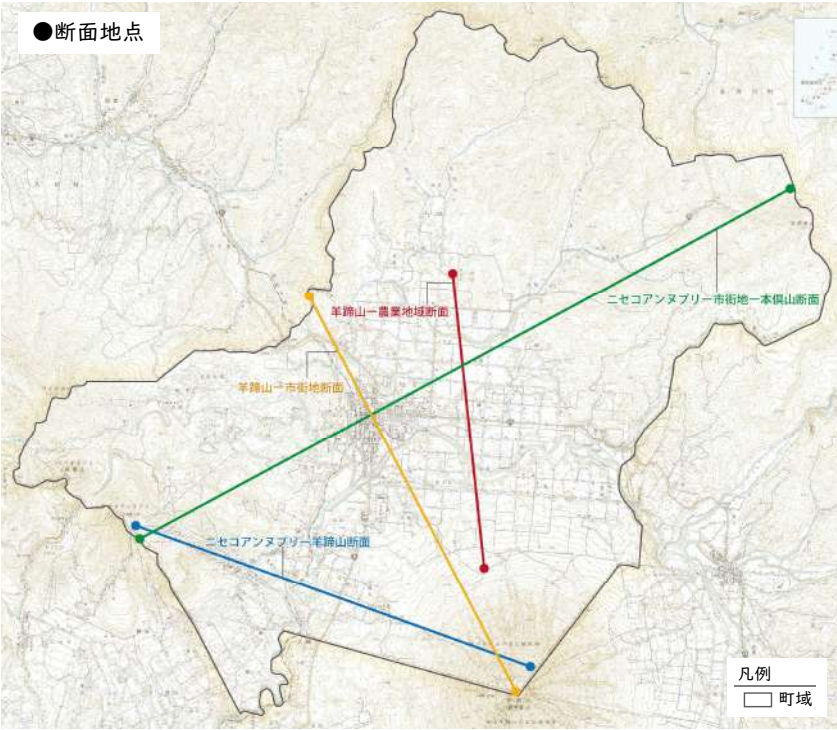
●羊蹄山ー市街地断面



●羊蹄山ー農業地域断面



●ニセコアンヌプリー羊蹄山断面



【倶知安町全域の航空写真】



A3印刷 1/40,000

